

平成29年9月吉日

工学院大学 校友会
機械系同窓会 会員 各位

一般社団法人工学院大学校友会
機械系同窓会会長 田中英生

平成29年度 機械系同窓会「秋の集い2017」開催について（ご案内）

拝啓、初秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃より同窓会活動、校友会活動に対し多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年度の工学院大学機械系同窓会の「秋の集い2017」は新宿キャンパスにて下記により開催いたします。

今年度は、工学院大学工学部機械工学科教授の伊藤慎一郎教授にご講演をいただくことにいたしました。

「秋の集い」は第1回（2000年開催）が三浦先生の講演から始まり、今年で17回目の講演会になりました。

また、今年度も鳥人間、ロボコン、ミツバチの各種学生プロジェクトの活動状況について学生から直接活動報告をしていただくことになっております。

尚、今年度は参加できませんが、ソーラーカーは今年10月のオーストラリアで開催されるソーラーカー世界大会に出場予定です。皆さんで応援しましょう。

講演会終了後は、伊藤先生、学生プロジェクト報告者を囲んで、懇親会を開催いたしますので、皆様方にはご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。敬具

記

- | | | |
|---------|---|----------------------------|
| 1. 日 時 | 平成29年10月21日（土） | 12:45～17:30 (受付は12:15～) |
| 2. 場 所 | 工学院大学新宿キャンパス 28階 第1会議室 (懇親会も28F 会議室前ロビーで開催します) | |
| 3. 開催内容 | ① 会長挨拶 | 12:45～13:00 |
| | ② 学生プロジェクトの報告 | 13:00～14:00 |
| | ③ 講演会 | 14:00～15:10 |

演 題：動物の動きと人間の動き ―動きと形―

講演者： 工学院大学工学部機械工学科教授

工学博士 伊藤慎一郎 氏

- | | | |
|--------------|-----------------------|-------------|
| | ④懇親会 | 15:30～17:30 |
| 4. 会 費（懇親会費） | 3,000円（ただし、学生は無料とします） | |
| 5. その他 | | |

- ・出欠の返事は準備の都合もありますので10月12日までお願いします。
- ・返信方法は返信ハガキかE-mailをお願いします。
返信ハガキ・・・お手数ながら切手をはってお出し下さい。
- ・お問い合わせ及びE-mail 返信先

工学院大学校友会 事務局(機械系同窓会 宛)

E-mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp

Tel: 03-3342-2064 Fax:03-3342-2035

以上

演 題: 動物の動きと人間の動き —動きと形—

講演者: 工学博士 伊藤慎一郎(Ito Shinichiro) 氏

プロフィール



工学院大学 工学部機械工学科教授. 工学博士
同大学大学院機械工学専攻専攻長
東京大学機械工学科卒, 同大学院博士課程修了. 工学博士.
専門は泳ぎとボールの飛翔に関するスポーツ流体力学, 動物の泳ぎと飛びを中心とした生物流体力学.
2004 年には泳ぎの解析で, バイオメカニクスおよび医学国際会議にて日本人初の最優秀賞受賞.
日本機械学会フェロー, 可視化情報学会企画担当理事, 日本機械学会スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門前部門長, 流体力学部門元技術委員会委員, エアロ・アクアバイオメカニズム学会元会長.
前筑波大学チームニッポンマルチサポートプロジェクト空力要員, 2014 年パラリンピック・マルチサポートプロジェクト委員長

—経歴—

| | |
|-----------------|---|
| 1979 | 東京大学工学部機械工学科卒業 |
| 1981 | 同上大学院修士課程修了 |
| 1981-1982 | 日産自動車(株) |
| 1986 | 東京大学 船用機械工学 工学博士 |
| 1986. 4-2009. 3 | 防衛大学校機械工学教室助手、講師 |
| 1989. 8-1991. 8 | ペンシルベニア州立大学工学部航空工学科客員研究院 |
| 2006. 4-2008. 3 | 放送大学大学院客員助教授 |
| 2008. 4-現在 | 工学院大学工学部第 1 部機械工学科教授就任 |
| 2012-2013. 3 | 筑波大学スポーツ Research & Development コア学外研究員 |

(講演の概要)

生き物は自分の生活環境に合わせて動作を変化させ, また形状も変化させている. マグロは三日月型の尾びれに, ハゼは団扇型の尾びれに進化している. 魚に限らず動物たちも同様に形を生活環境に合わせて変化させている. 一方, 彼らは形状を変化させることで本能で最適な動きを修得している. それを見倣って, 人間が彼らの動きを真似するとスポーツでも好記録を産み出す動きを見出すことができる. 動物の動きから人間の最適な動きまでを解説する.